<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

鮮度良いお魚を安全・安心に消費者に提供し、食品の生産者として食材を有効的に活用しフードロスの削減に繋げる。県内企業及び公共機関との連携により地産地消に取り組み、地元漁業者の持続的存続と地域雇用を創出し地域社会の活性化を図る。また、すべてのステークスホルダーが利益と満足が得られる事業を推進していく。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	廃棄食材(フードロス)の減少につながる商品の開発と販売	廃棄部位や市場で売れ残る魚を有効活用した商品開発 2023年開始 ⇒2026年6商品(毎年2商品)
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	地産地消による地域経済の活性化と輸送によるCO2削減	九州圏内販売シェア 2023年 54%⇒2026年 60%
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	地元の雇用創出と地域経済の活性化を目指し、地元天草市内の新卒又は中途採用の実施	新卒又は中途採用の実施 2023年2名 ⇒2026年2名

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)**更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

魚の養殖と水産加工品の製造者である自社と地元漁協が連携し海洋資源の持続への取り組みを行う共に、消費者に安全・安心な水産加工品を提供し情報発信を行うことにより信頼関係を構築する。また、企業内においても従業員に働きやすい環境を提供する。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
	廃棄食材(フードロス)の減少につながる商品の開発と販売	廃棄部位や市場で売れ残る魚を有効活用した商品開発。 2020年2商品→2023年4商品
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	真鯛のフィレ加工で廃棄されるアラを使って出汁をとり商品にする取り組みを実施し、1商品のみ試作段階ではあるが、目標商品数には到達した。	新規で3商品の開発販売に繋げた残り1商品については現在試作中
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
	地産地消で地域経済の活性化と輸送による CO2削減へつなげる。	熊本県内出荷割合 2020年43.6%→2023年 54%
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	熊本県内の企業への出荷が増え目標達成	2023年度実績で55.7%達成
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
	地元の雇用創出と地域経済の活性化を目指し、地元天草市内の新卒又は中途採用の実施。	新卒又は中途採用の実施 2020年実施→2023年実施2名増員
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	地元で人員を探しているがなかなか厳しい状況で、他県より新卒で2名採用。地域の活性化につなげた。	2024年4月新卒採用2名

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
 ・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
 ・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**